

## 冬 | 12月～2月

ロシアからオオワシとオジロワシがやってきます。凍った風蓮湖で氷下待網漁のおこぼれを狙います。港には冬のカモたちがやってきます。風蓮湖の草原では、ハギマシコとユキホオジロがやってきます。



シノリガモ

体の模様がとても美しい海のカモ

12月～2月 ハギマシコ



暗い赤色の体で、冬にやって来る。海岸や道路の短い草の種を食べる。30羽ほどの群れで移動する。

12月～2月 コオリガモ



崖の近くの海岸や港にやって来る。白い体で尾羽がまっすぐなのが特徴。「アオナ・アオナ」の鳴き声も聞いていて楽しい。



12月～2月

オオワシ

ロシアから暖かな北海道にやって来る。凍った風蓮湖で行われる氷下待網漁のおこぼれを狙い森の木の枝に数百羽が待機する。



シマエナガ



インシギ

湖の水際や海岸を群れて飛ぶ



9月～11月



コクガン

黒い体に白のネックレスのような模様がきれい。ガンなのに沼や畑にはいかず海で生活する。潜ることができずにアマモなど海藻を食べる。

## 秋 | 9月～11月

タンチョウのヒナが飛ぶ練習をしています。親の真似をして羽ばたいたり短い距離を滑空したりしています。オジロワシの子供が巣立ちを迎え、親にエサをねだっています。ハクチョウたちやカモたちも北からやってきます。



ベニヒワ

額に赤い斑点があるなかなか会おうのが難しい

12月～2月

ユキホオジロ



ハマニシクノ種を求めてシベリアから、やって来る白い体がかわいい小鳥。会おうのに苦労する鳥でもある。

草原を低空で飛びネズミを狙う



コミズク

ピンと張った尾が特徴



オナガガモ



3月～5月

ミヤコドリ

Oystercatcher、黒と白のコントラストがきれいな鳥、くちばしが鮮やかなオレンジ色で春国産の浅瀬で貝を食べる。



ベニマシコ

草原で大きな声で囀る

赤い体がかわいい小鳥



3月～5月

オオハクチョウ

日本最大の白鳥、春と冬の初めに根室にやってきます。長い首を水の中に入れおしりを上げてアマモを食べている姿はとてもかわいい。



根室を代表する鳥



6月～8月

エトビリカ

アイヌ語のエト(クチバシ)ビリカ(美しい)の名の通りオレンジ色のくちばしと目の上に伸びた金色の飾り羽が美しい鳥。



6月～8月

オオジシギ

オーストラリアから赤道を超えてやって来る。くちばしが長くずんぐりとした体の特徴。急降下するときの翼の音がカミナリのように。

## 夏 | 6月～8月

子育てで忙しい季節。小鳥たちは草原の上を虫をくわえて飛び回ります。タンチョウたちもヒナに餌を与える姿が見られる時期でもあります。海では、エトビリカがやってきます。根室で暮らすオジロワシも木の上で獲物を探します。



クロガモ

真っ黒で黄色いくちばし「ピー・ピー」と鳴く姿がかわいい



ノゴマ

森の中木の梢でさえずっているおなが薄い緑色



アオジ